

平成 24 年度まちづくりアンケート結果【速報版】

1 調査の概要

調査対象：市内在住の 20 歳以上の男女

標本総数：5,000 人【住民基本台帳から等間隔無作為抽出】

調査期間：平成 24 年 10 月 25 日 (木) から 11 月 8 日 (木) まで

回収結果：3,178 通

回収率：63.6%

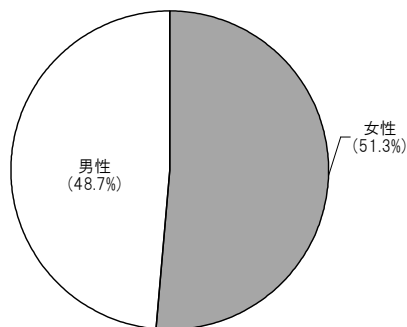
2 調査の目的

市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、満足度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの（昭和 57 年度から毎年実施）

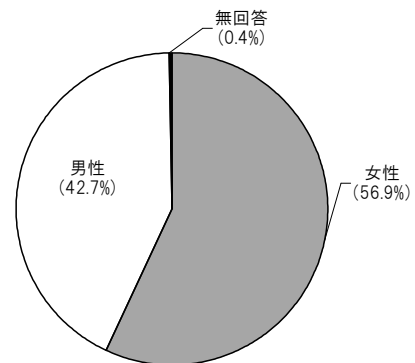
3 回答者の属性

① 男女別

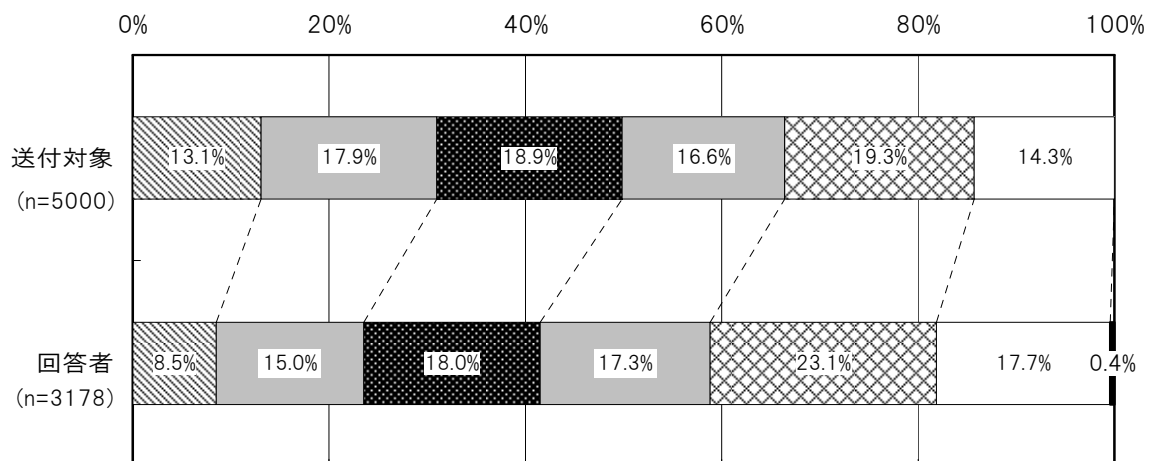
送付対象者 (n=5,000)



回答者 (n=3,178)



② 年代別



■ 20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳以上 ■ 無回答

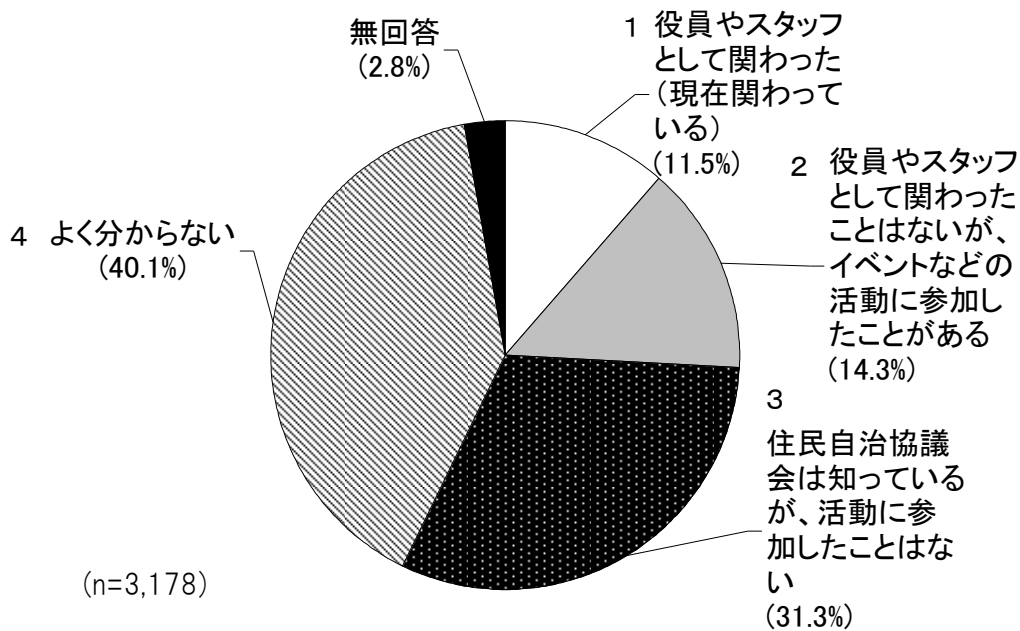
4 アンケート内容・結果

住民自治協議会について

問 13 住民自治協議会は、「自分たちの地域は自分たちでつくる」という意識のもと、地区の住民自治組織として、平成 22 年度に本格的に活動をスタートしてから 3 年目となります。あなたは、お住まいの地区の住民自治協議会の活動に参加したことはありますか。次の中から 1 つだけ をしてください。

- 1 役員やスタッフとして関わった（現在関わっている）
- 2 役員やスタッフとして関わったことはないが、イベントなどの活動に参加したことがある
- 3 住民自治協議会は知っているが、活動に参加したことはない
- 4 よくわからない

アンケート結果



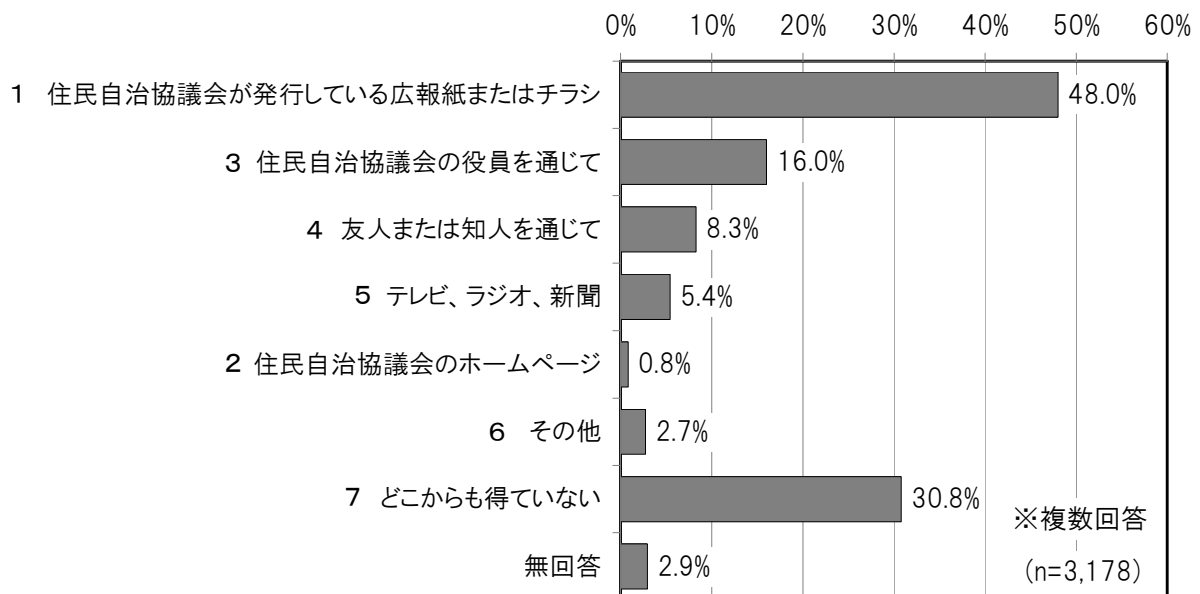
考察（都市内分権課による）

- ・ 4 分の 1 の人が住自協の活動に参加している。
- ・ 住民の参加状況を調査するとともに、住自協の認知度を調査するものであるが、選択肢 1～3 の合計が 6 割弱を占め、問 14 の選択肢 7 の「どこからも得ていない」と選択肢 8 の「無回答」の合計が 34% であり、66% の方が何らかの情報を得ていることを考え併せると、6 割を超える方が住自協を認知していると思われる。
- ・ 選択肢 4 の「よくわからない」は自分が参加した地域活動が、住自協なのか区や自治会なのか区別が付かない人もいるものと思われる。

問 14 あなたは、お住まいの地区の住民自治協議会の情報をどこから得ていますか。次の中から当てはまるものすべてに○をしてください。

- 1 住民自治協議会が発行している広報紙またはチラシ
- 2 住民自治協議会のホームページ
- 3 住民自治協議会の役員を通じて
- 4 友人または知人を通じて
- 5 テレビ、ラジオ、新聞
- 6 その他 ()
- 7 どこからも得ていない

アンケート結果



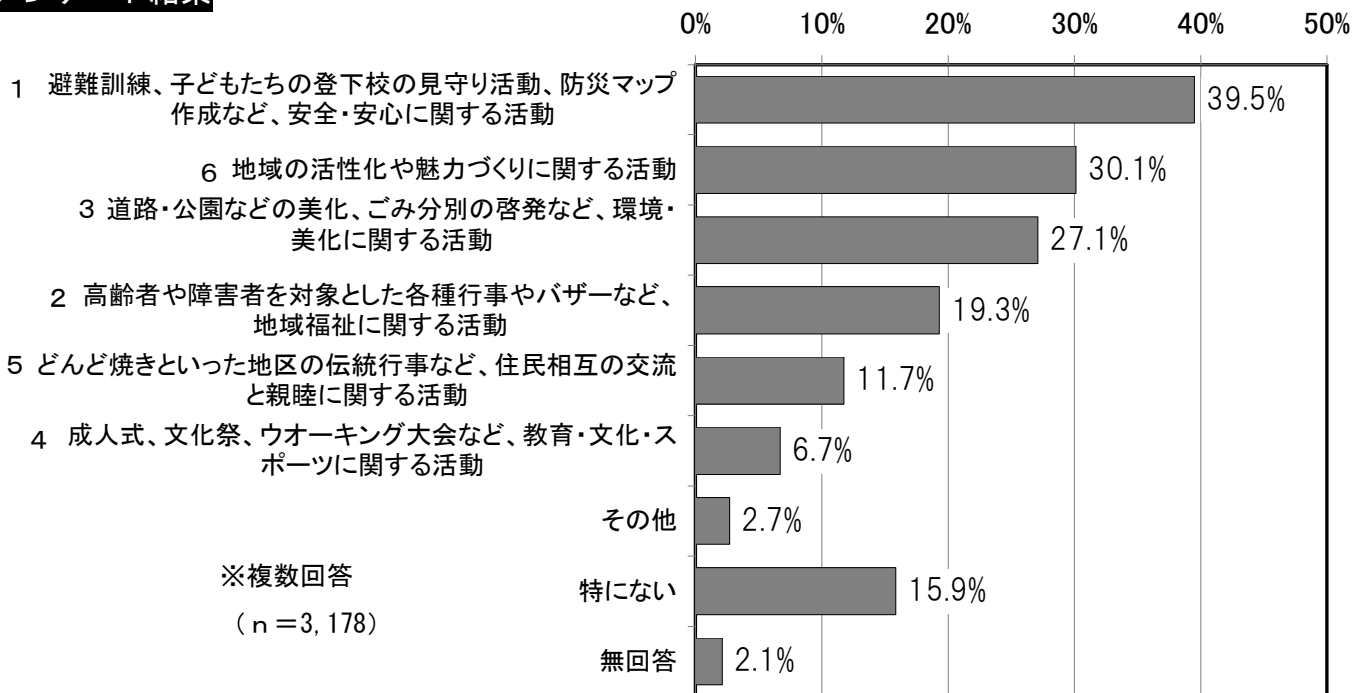
考察 (都市内分権課による)

- ・ 情報の取得手段は、住自協が発行している「広報紙、チラシ」が半数を占めている。
- ・ 選択肢3、4の口コミが4分の1を占め、情報の大きな取得手段となっている。
- ・ 選択肢5のマスメディアからの情報は、5%とあまり取得手段となっていない。
- ・ 選択肢2のホームページは、住自協のオリジナルサイトが32地区中14地区での開設にとどまっているためか、1%弱とほとんど浸透していない。広報紙などでホームページの広報をする必要があると考える。

問 15 あなたは、住民自治協議会が今後、どのような活動に力を入れてほしいと考えていますか。次の中から2つ以内で選び、○をしてください。

- 1 避難訓練、子どもたちの登下校の見守り活動、防災マップ作成など、安全・安心に関する活動
- 2 高齢者や障害者を対象とした各種行事やバザーなど、地域福祉に関する活動
- 3 道路・公園などの美化、ごみ分別の啓発、不法投棄を防止する活動、環境学習会など、環境・美化に関する活動
- 4 成人式、文化祭、ウォーキング大会など、教育・文化・スポーツに関する活動
- 5 どんど焼きといった地区の伝統行事など、住民相互の交流と親睦に関する活動
- 6 地域の活性化や魅力づくりに関する活動
- 7 その他 ()
- 8 特にない

アンケート結果



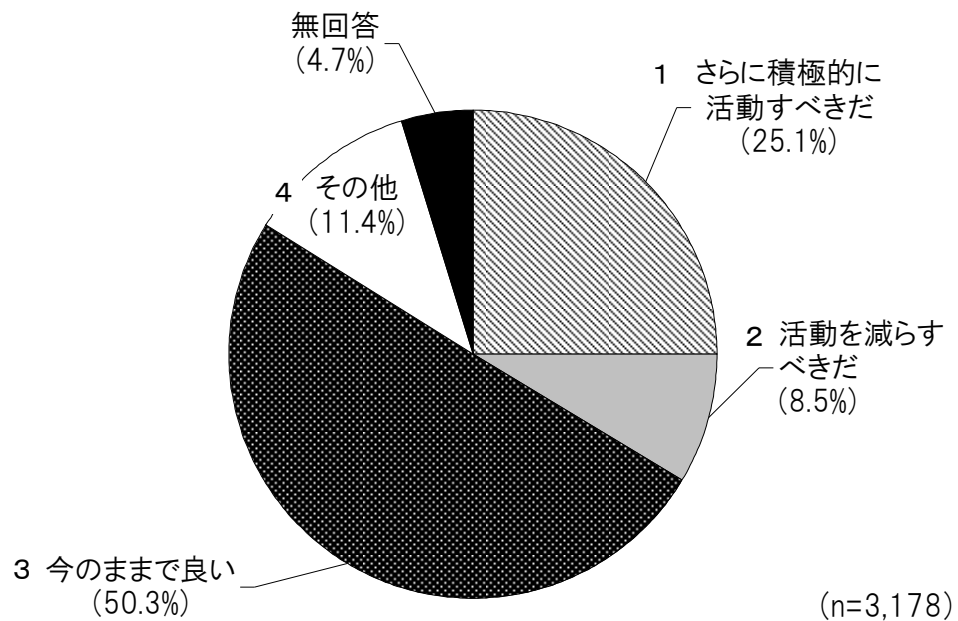
考 察 (都市内分権課による)

- ・ 選択肢1の「安全・安心に関する活動」が今後、最も力を入れてほしい結果となった。
- ・ 選択肢6の「地域の活性化・魅力づくりに関する活動」が第二位の3割となり、まちづくり活動を望む声大きい。
- ・ 選択肢2の「地域福祉に関する活動」が第四位の2割となり、順位があまり高くなかった。平成23年度の住自協の決算をみると、健康・福祉関係が部会等活動費の36%を占め、既に福祉の充実を最優先課題として取り組んでいる地区が多いため、他の項目を選択した人もいるのではないかと思われる。

問16 あなたは、住民自治協議会の今後の在り方について、どのように考えますか。次の中から1つだけ○をしてください。

- 1 さらに積極的に活動すべきだ
- 2 活動を減らすべきだ
- 3 今のままで良い
- 4 その他 ()

アンケート結果



考察 (都市内分権課による)

- ・ 住自協の将来のことを聞きながら、現在の評価も調査するものであるが、「現状維持」が半数を、「さらに積極的に」が4分の1を占め、合計4分の3の人が住自協の活動に肯定的と考える。
- ・ 「活動を減らす」は1割となり、役員のなり手不足などから活動の見直しを望む方もいるものと思われる。